

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
東洋医療専門学校		平成12年3月31日		太田 宗夫		〒 532-0004 (住所) 大阪市淀川区西宮原1-5-35 (電話) 06-6398-2255		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人大阪滋慶学園		昭和62年3月31日		浮舟 邦彦		〒 532-0003 (住所) 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-43 (電話) 06-6150-1301		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
医療	医療専門課程		鍼灸師学科		平成17(2005)年度	-	平成26(2014)年度	
学科の目的	はり師きゅう師の役割はますます多様化しており、活躍のフィールドを広げつつあります。本校のカリキュラムはできる限り幅広い知識・技術・情報に触れる機会を提供できるように組まれており、数多くの選択肢の中から卒業後の進路やスタイルを選ぶことができるようになっています。また、就職・開業の双方において需要にあった実践力を身につけられる指導を受けることができます。昼間部・夜間部3年制の専門性の高い指導のもと、多様化に対応できる幅広いスタイルを持ち、社会人としての人格・職業人としての職業観を持った人間性豊かな鍼灸師の養成を目指します。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	取得可能な資格：はり師(国家資格)、きゅう師(国家資格) 2023年度合格率：はり師76.2%(16名/21名)、きゅう師81%(17名/21名) 国家試験対策はもちろん、実践的な技術習得を目指し、業界で活躍する多数の講師陣が直接学生を指導することが特長です。また授業のみならず、美容、スポーツ、整体、漢方、語学、臨床テクニックなど、選択制のセミナーも実施しており、将来に役立ちます。 中退率：6%(5名 主な理由:学力不審、経済的理由、進路変更など)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,888 単位時間	1,876 単位時間		1,012 単位時間	
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)			
90 人	84 人		0 人		0 %			
就職等の状況	■卒業者数(C)：21 人							
	■就職希望者数(D)：16 人							
	■就職者数(E)：16 人							
	■地元就職者数(F)：6 人							
	■就職率(E/D)：100 %							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)：38 %							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)：76 %							
	■進学者数：0 人							
	■その他							
	一次的な仕事に就いた者:5名 (令和5年度卒業者にに関する令和6年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 鍼灸院、鍼灸整骨院、病院、クリニック、介護施設など							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載							
当該学科のホームページURL	https://www.toyoiryo.ac.jp/gakka/amt/							
企業等と連携した実習等の実施状況	(A：単位時間による算定)							
	総授業時数				2,656 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				1,012 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0 単位時間			
	うち必修授業時数				2,656 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				1,012 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0 単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				196 単位時間			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)				8 人			
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)				4 人			
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)				1 人			
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)				0 人			
	計				13 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				2 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
学校法人大阪滋慶学園が設置する東洋医療専門学校の教育課程の編成における基本方針は、企業・業界団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映させることが重要であり、今後さらなる連携体制を構築していかなければならないと考えている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
東洋医療専門学校教育課程編成委員会規程第2条に明記されているように教育課程編成委員会は、法人の最高意思決定機関である法人理事会の直下に置かれている。組織図参照同規定第3条及び事第4条のとおり理事長が事務局委員長となりその他の構成メンバーは法人理事会により承認される。具体的には学校の各セクションの責任者と、専門分野に関する企業の役職員など広く選任されている。
教育課程編成委員会で得た企業等の意見や要望は学科内で要約されカリキュラムへの反映を事業計画発表会で共有し次年度事業計画に盛り込まれる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

#REF!

名 前	所 属	任期	種別
富永 礼子	一般社団法人鍼灸保険協会大阪 代表理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	①
丸茂 美保子	鍼灸maman 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
松本 佳之	よしゆき鍼灸院 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	③
【学内担当者】			
真田 浩二	鍼灸師学科 学科長		—
山口 隆平	鍼灸師学科 副学科長		—
高木 健之	鍼灸師学科 専任教員		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、12月)
(開催日時(実績))
第1回 令和6年7月7日 9:00～12:00
第2回 令和6年12月1日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
今年度は学生の「退学」について昨今の退学者数、退学率、時期、理由などを挙げ、本校の取り組み及び現状の課題を説明し、委員の先生方から意見をいただいた。

【短期】
・学生アンケートの分析 ・入学前学習機会の強化
【中期】
・卒業生参加授業、OCの増強 ・オンデマンド学習環境の準備
【長期】
・成績優秀者に対する給付金制度 ・図書室、7階大教室自習場所開放 ・昼間部授業開始時間の再検討

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

日々進化する医療業界では、新しい技術や新しい知識の習得が重要である。企業と連携した実習・演習を通じ、最先端の技術・知識習得を目的としている。また、技術・知識だけでなく目指す業界の方々と接することにより学習意欲就業意欲向上を目指している。

実習・演習等で学んだ知識・技術が将来における臨床現場で活用され、理論と実践を結びつけて理解できる能力を養うとともに、実社会におけるルール等を肌で感じ職業観・勤労観を育成するとともに、自らの適性を見つめながら具体的な将来像を描き、社会人としての総合的な人間力を高めることを基本方針としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学外では実習指導要領に基づいて、企業と実習履修内容の詳細打ち合わせを事前に実施し、学内での事前オリエンテーションでは考え方・行動・姿勢を十分説明し、企業および担当者にも失礼の無いよう指導する。この実習期間中は企業担当者と担当教員で問題点の有無を相談し、問題点が発生すれば対応を行う。学内の演習においては業界が求める人材に必要な到達度について企業と事前に授業内容の打ち合わせを行った上で授業計画を立案し、それに基づいた演習の実施・及び評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
はりきゅう実技②	身体に安全、有効な施灸ができるように、紙上、板上の練習から身体施灸の基礎から応用までを学ぶ。	月桃の花針灸院
はりきゅう実技④	スポーツ現場で活躍できる鍼灸師となるべく、疾患への判断、組織への触れ方、さまざまな体勢での鍼灸の打ち方などを学ぶ。	向井鍼灸院
はりきゅう実技⑤	整形外科的疾患を重点的に学んでいく。徒手検査などを用いて疾患を鑑別し、症状に伴う治療を学ぶ。	清藤鍼灸院
はりきゅう実技⑦	身体部位別刺鍼技術の習得（硬結部位・虚実部位・安全深度）またその部位にある経穴の穴性を学ぶ。臨床実習に向け、問診・検討・処方をグループで行い、施術し結果を確認する。	ひまわり針灸院
臨床実習②	学生や学外の患者への対応を実習担当教員の監視の下、実習をおこなう。臨床現場にて、医療面接から得た情報をもとに治療の方針を計画し、実施できるようになる。	鍼灸maman

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にを行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、資質・能力の向上を研修の基本方針としている。

教職員研修規程に基づき、担任マニュアル・教職員研修マニュアル・講師マニュアルに則り研修を実施している。具体的には、業界で求められる最新の知識・技術を習得するため業界が主催する学会への参加、大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教員研修に積極的に参加している。

滋慶学園グループ内では教育の質的向上を目指すために独自の研究機関として滋慶教育科学研究所を設置し、教育システムの構築・教育ノウハウの蓄積を行っている。また専門分野に分かれた委員会が設置されており、より教育の質向上に向けた研修が行われている。その他としては、学生指導に関わる人・カリキュラム・教材・環境に関する各委員会による研修も行っている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	全日本鍼灸学会学術大会	連携企業等:	全日本鍼灸学会
期間:	令和5年6月9日～11日	対象:	竹中 美樹
内容	鍼灸学の次代展望		
研修名:	伝統鍼灸学会学術大会	連携企業等:	日本伝統鍼灸学会
期間:	令和5年7月27日～29日	対象:	後藤 山口 高木 今井
内容	伝統鍼灸学の学び		
研修名:	日本女性医学学会学術大会	連携企業等:	日本女性医学学会
期間:	令和5年12月2日・3日	対象:	松本 栞
内容	女性医学でつながろう		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	東洋療法学校協会 教員研修会	連携企業等:	東洋療法学校協会
期間:	令和5年8月24日・25日	対象:	学科教員全員
内容	アクティブラーニング		
研修名:	FDミドル研修【ZOOM視聴】	連携企業等:	滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年7月20日	対象:	山口 隆平
内容	カリキュラムマネジメント		
研修名:	国家試験対策研修会【ZOOM視聴】	連携企業等:	滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年6月6日	対象:	学科教員全員
内容	国家試験100%に向けて		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	全日本鍼灸学会 学術大会	連携企業等:	全日本鍼灸学会
期間:	令和6年5月24日～26日	対象:	山口 隆平
内容	つながり、通じ、いかす鍼灸		
研修名:	日本鍼灸師会 全国大会	連携企業等:	日本鍼灸師会
期間:	令和6年10月26日・10月27日	対象:	山口 隆平 坂井 優志
内容	原点回帰 未来に伝えたい鍼灸の技術		
研修名:	伝統鍼灸学会学術大会	連携企業等:	日本伝統鍼灸学会
期間:	令和7年1月予定	対象:	高木 健之
内容	東洋医学の神髄に迫る		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	第9回関西教育ICT展	連携企業等:	一般社団法人日本教育情報化振興会
期間:	令和6年7月25日・26日	対象:	真田浩二 山本岳
内容	NextGIGAに向けた個別最適な学び・協働的な学びの一体的な充実		
研修名:	東洋療法学校協会 教員研修会	連携企業等:	東洋療法学校協会
期間:	令和6年8月8日・9日	対象:	学科教員全員
内容	アクティブラーニング ITリテラシー 対人関係と教育現場		
研修名:	日本教育情報学会 年会	連携企業等:	日本教育情報学会
期間:	令和6年8月24日・25日	対象:	山本 岳
内容	AI/DX時代の教育情報学を考える		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置き、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・理念・目的・育成人材像は定められているか・学校の特色は何か・学校の将来構想を抱いているか
(2)学校運営	・運営方針は定められているか・事業計画は定められているか・運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか・人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか・意思決定システムは確立されているか・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	・各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか・修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか・カリキュラムは体系的に編成されているか・学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けがされているか
(4)学修成果	・キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか・授業評価の実施・評価体制はあるか・育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか・教員の専門性を向上させる研修を行っているか・成績評価・単位認定の基準は明確になっているか・資格取得の指導体制はあるか
(5)学生支援	・就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか・資格取得率の向上が図られているか・退学率の低減が図られているか・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
(6)教育環境	・就職に関する体制は整備されているか・学生相談に関する体制は整備されているか・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか・学生の健康管理を担う組織体制はあるか・課外活動に対する支援体制は整備されているか・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか・保護者と適切に連携しているか・卒業生への支援体制はあるか・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか・学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか・防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動は、適正に行われているか・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか・入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか・学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか・財務について会計監査が適正に行われているか・財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか・自己点検・自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
(11)国際交流	・グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

内容	学校関係者評価委員からの意見	活用方法
学校全体	4 教育成果 4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 【高等学校・大学】国家試験合格率はすばらしい結果だと思います。広報活動にも今後活かしていただきたいです。 【歯科技工士学科】国家試験合格は通過点であり、専門性と社会人基礎力を在学中に身に付けることが学校の役割だと感じています。 【救急救命士学科】 ・国家試験合格率が全国平均より高いことはすばらしいことだと思います。 ・救命士法の改訂で病院救命士のニーズが増加しており、病院も救命士の地位確立を目指し努力しているところです。 就職先の拡大に向けた教育(消防、病院など)も必要だと思います。 【鍼灸師学科】学生に対するサポート力はすばらしいと思います。 【柔道整復師学科】社会人直前講座など、在学中に参加者が少ないと感じていました。もっと学生が積極的に参加する必要があると思います。	4 教育成果 4-19 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか 国家資格養成校であるため、国家試験の合格が専門職就職に直結する。具体的な取り組みについては、キャリアセンターと教務が連携し、就職情報を求人サイトで連絡、面談を通じ、個々の要望に応じた求人の紹介、履歴書添削、面接指導、就職説明会を開催し、幅広い選択肢から自分に合った場所を見つけれられるようサポートしている。 歯科技工士学科、鍼灸師学科、柔道整復師学科については、質の良い就職先の確保が課題となる。また、毎年本校の卒業生を採用したいと思われる状況をつくっていきたい。救急救命士学科については継続して地方公務員採用試験に合格しうる教育体制を創っていくと同時に病院を含めた民間就職の拡充も目指していく。
鍼灸師学科教育	■教育活動 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 卒業生の就職先の訪問は良いことだと思います。 在学中に学んでおくべきことなど意見を伺い、教育にぜひ反映させていただきたいです。	■教育活動 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか 業界のニーズに合った人材を輩出できているかの判断は、卒業生の業界での活躍具合や、雇用主からの評価で決まる。卒業生の就職先を訪問し、ヒアリングの機会を多く設けることで、自己満足に陥らない教育効果のエビデンスをとっていく。

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置き、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月31日

名 前	所 属	任期	種別
船木 昭治	船木デンタルラボ 代表 / 岡山県歯科技工士会 副会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	保護者
渡辺 真季	海南市消防本部 予防係長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
能登路 賀一	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 救急救命士科 副室長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
松本 佳之	よしゆき鍼灸院 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
高野 公輔	整骨・鍼灸治療院ワカメ 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
與那嶺 天音	有限会社 おおえのきトータルヘルスケア	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	卒業生
小早川 真一	元大阪府立寝屋川高等学校定時制 准校長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	高等学校
大池 信也	株式会社DL-GROUP(本部) 代表取締役会長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(歯科技工士学科)
小塩 寛至	ナノ デンタル システム 代表	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(歯科技工士学科)
森本 幸夫	社会医療法人 純幸会 関西メディカル病院 EMT科 顧問	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(救急救命士学科)
富永 礼子	一般社団法人鍼灸保険協会大阪 代表理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(鍼灸師学科)
丸茂 美保子	鍼灸maman 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(鍼灸師学科)
布施 正朝	公益社団法人大阪府柔道整復師会 理事	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(柔道整復師学科)
正木 大吾	正木鍼灸整骨院 院長	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年)	企業等(柔道整復師学科)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL: <https://www.tovoiryo.ac.jp/gakko/ivouhou/>

公表時期: 令和6年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校が保有する情報の公開及び開示に関し、学校が必要な事項を定め、当該情報を積極的に公開することにより、教育活動や取り組みについて広く社会に対する説明責任を果たすとともに、公正で透明性の高い運営を推進し、教育活動の改善や社会全体からの信頼の獲得に資することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校長名、所在地、連絡先、沿革、学校の特色(教育活動、カリキュラム) 教育目標、教育指導方針
(2)各学科等の教育	定員数、入学者数、在校生数、カリキュラム(科目編成、授業時間数)、進級・卒業の要件(成績評価基準、卒業の認定基準)、目指す資格・検定等、資格取得等の実績、卒業者数、卒業後の進路(進学者数、主な就職先、就職者数)
(3)教職員	教職員数(職名別)、教職員の組織・活動(教職員の研修・研究活動)
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、就職支援への取組状況
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、部活動・放課後活動・生徒会活動等の状況、家庭・地域・企業等との連携による取り組み、他の学校との連携による取り組み等の状況
(6)学生の生活支援	学生の生活指導への取組状況(指導上の諸問題(中途退学、不登校など)の状況及びそれに対する学校の対処や指導の状況、心のケアの体制整備等に関する状況、留学生支援や障がい者支援も含め学校が取り組む様々な学生支援)
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い(金額や納入時期等)、活用できる経済的就学支援措置の内容(授業料減免措置、奨学金等の案内)
(8)学校の財務	財務諸表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	外国の学校等との交流状況(教員・学生間交流や単位互換等に関する実績)
(11)その他	学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL: <https://www.toyoiryu.ac.jp/gakko/jyuhou/>

公表時期: 令和6年7月31日

授業科目等の概要

(医療専門課程 鍼灸師学科) 令和6年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			情報科学 Information Processing	パソコンによる情報処理技術の基礎的な操作技術、ＩＴリテラシーを学ぶ	1 1学期	24	1	○			○			○	○
○			生物学 Biology	解剖学・生理学の基礎となる、生命現象の基礎を学ぶ	1 1学期 2学期	48	3	○			○		○		
○			コミュニケーション学 Communication Studies	コミュニケーションの基礎・技法・心理、および社会的コミュニケーションを学ぶ	1 1学期 2学期	48	3	○			○			○	○
○			外国語① Foreign Language ①	医学英語の習得とともに、英語による患者とのコミュニケーション方法を学ぶ。	1 2学期 3学期	48	3	○			○			○	
○			外国語② Foreign Language ②	中国語の読み書き、会話、および中国の文化などを学ぶ。	2 2学期	24	1	○			○			○	
○			保健体育 Health and Physical Education	スポーツマッサージ、スポーツ傷害の発生・予防法などを学ぶ。	3 1学期 2学期	48	3	○			○			○	○
○			マネジメント学 Management Studies	鍼灸院開業に際して必要な知識、想定される諸問題の解決方法を学ぶ。	3 2学期	24	1	○			○			○	
○			自然療法概説 Outline of Naturopathy	芳香療法（アロマテラピー）について学ぶ。	1 1学期	24	1	○			○			○	○
○			解剖学① Anatomy ①	人体の構造を中心とした基礎的内容を学ぶ。	1 通	72	4	○			○		○		
○			解剖学② Anatomy ②	人体の構造を中心とした基礎的内容を学ぶ。	1 通	72	4	○			○			○	○
○			生理学① Physiology ①	人体の機能を中心とした基礎的内容を学ぶ。	1 通	72	4	○			○		○		

○			生理学② Physiology ②	人体の機能を中心とした基礎的内容を学ぶ。	1 通	72	4	○				○		○		
○			解剖生理学 Anatomy and Physiology	人体の構造と機能を総合的に学ぶ。	2 通	72	4	○				○		○	○	○
○			病理学概論 Outline of Pathology	疾病の原因、病理学像などの基礎的内容を学ぶ。	2 1学期 2学期	48	3	○				○			○	
○			臨床医学総論 ① Clinical Medicine in General ①	主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。	2 通	72	4	○				○		○		
○			臨床医学総論 ② Clinical Medicine in General ②	主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。	3 通	72	4	○				○		○		
○			臨床医学各論 ① Clinical Medicine Part ①	主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。	2 通	72	4	○				○		○		
○			臨床医学各論 ② Clinical Medicine Part ②	主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。	2 通	45	3	○				○		○		
○			臨床医学各論 ③ Clinical Medicine Part ③	主に西洋医学的な立場から疾病の診断方法などを学ぶ。	2 3学期	24	1	○				○		○		
○			リハビリテー ション 医学① Rehabilitation Medicine ①	リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的ケ アなどについて学ぶ。	2 3学期	24	1	○				○			○	○
○			リハビリテー ション 医学② Rehabilitation Medicine ②	リハビリテーションの概念、方法、対象疾患毎の具体的ケ アなどについて学ぶ。	3 通	96	6	○				○			○	○
○			医療概論 Outline of Medicine	医学の本質、医学の発達、医療従事者の倫理、およびあは き史などを学ぶ。	1 3学期	24	1	○				○		○	○	○
○			衛生学公衆衛 生学① Hygiene and Public Health①	健康や保健に関する問題を学ぶ。	1 3学期	24	1	○				○		○		
○			衛生学公衆衛 生学② Hygiene and Public Health②	健康や保健に関する問題を学ぶ。	2 1学期	24	1	○				○		○		
○			東洋医学概論 ① Outline of Oriental Medicine ①	自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論 を学ぶ。	1 2学期 3学期	48	3	○				○			○	○
○			東洋医学概論 ② Outline of Oriental Medicine ②	自然観、疾病の原因、病理学像等の東洋医学的な基礎理論 を学ぶ。	2 1学期 2学期	48	3	○				○			○	○

○			はりきゅう理 論① Scientific Foundation of Acupuncture ①	鍼灸の治効理論、生体への効果などを学ぶ。	1 1学期	24	1	○			○		○		
○			はりきゅう理 論② Scientific Foundation of Acupuncture ②	鍼灸の治効理論、生体への効果などを学ぶ。	2 2学期 3学期	48	3	○			○		○		
○			経絡経穴概論 ① Outline of the Meridians and Acupuncture Points ①	経絡・経穴の概念、位置、機能などを 学ぶ。	1 通	72	4	○			○			○	○
○			経絡経穴概論 ② Outline of the Meridians and Acupuncture Points ②	経絡・経穴の概念、位置、機能などを 学ぶ。	2 1学期	24	1	○			○			○	○
○			東洋医学臨床 論① Clinical Oriental Medicine①	主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などを学 ぶ。	2 通	76	5	○			○			○	
○			東洋医学臨床 論② Clinical Oriental Medicine②	主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などを学 ぶ。	2 2学期 3学期	48	3	○			○			○	
○			東洋医学臨床 論③ Clinical Oriental Medicine③	主に東洋医学的な立場から疾病の診断、治療方法などを学 ぶ。	3 1学期	24	1	○			○			○	
○			関係法規 Legal Issues in Medicine	あはき法など、鍼灸師に関連する法規 について学ぶ。	3 1学期 2学期	48	3	○			○			○	
○			はりきゅう実 技① Practice of Acupuncture and Moxibustion ①	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	1 通	72	2		○		○			○	○
○			はりきゅう実 技② Practice of Acupuncture and Moxibustion ②	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	1 通	72	2		○		○			○	○
○			はりきゅう実 技③ Practice of Acupuncture and Moxibustion ③	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	1 通	72	2		○		○			○	○
○			はりきゅう実 技④ Practice of Acupuncture and Moxibustion ④	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	1 2学期 3学期	48	1		○		○			○	○
○			はりきゅう実 技⑤ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑤	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	2 通	72	2		○		○			○	○
○			はりきゅう実 技⑥ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑥	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	2 通	72	2		○		○			○	○
○			はりきゅう実 技⑦ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑦	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師 として最も基本となる技術や施術法を 習得する。	2 通	72	2		○		○			○	○

○		はりきゅう実技⑧ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑧	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。	2通	72	2		○		○			○	○
○		はりきゅう実技⑨ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑨	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。	3通	##	4		○		○			○	○
○		はりきゅう実技⑩ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑩	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。	3通	72	2		○		○			○	○
○		はりきゅう実技⑪ Practice of Acupuncture and Moxibustion ⑪	鍼を刺す、灸をすえるといった鍼灸師として最も基本となる技術や施術法を習得する。	3 2学期 3学期	48	1		○		○			○	○
○		臨床実習① Clinical Education ①	患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解決方法を学ぶ。	2通	90	2		○		○	○	○	○	○
○		臨床実習② Clinical Education ②	患者への施術を通し、卒業後の臨床現場を想定した諸問題の解決方法を学ぶ。	3通	90	2		○		○			○	○
○		総合領域① Synthetic Studies ①	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	3通	72	4	○			○		○		
○		総合領域② Synthetic Studies ②	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	3通	72	4	○			○		○		
○		総合領域③ Synthetic Studies ③	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	3 3学期	24	1	○			○		○		
○		総合領域④ Synthetic Studies ④	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	3 3学期	24	1	○			○		○		
○		総合領域⑤ Synthetic Studies ⑤	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	3 3学期	24	1	○			○		○		
○		総合領域⑥ Synthetic Studies ⑥	国家試験や卒後に役立つさまざまな知識・技術について幅広く学ぶ。	3 3学期	24	1	○			○		○		
合計			53 科目	2888単位時間(130単位)										

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
卒業要件： 所定の単位を全て修得すること。			1 学年の学期区分	3 学 期
履修方法： 試験および模擬試験で、100点満点中60点以上の合格点を取得すること			1 学期の授業期間	16 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。